

2019年度事業報告書

公益社団法人 被害者サポートセンターおかやま (VSCO)

2019年度事業の状況

1 はじめに

当センターは、平成15年11月29日の発足以来、23年3月には岡山県公安委員会から「犯罪被害者等早期援助団体」の指定、25年4月には岡山県知事から公益社団法人の認定を受け、殺人、傷害、性犯罪、交通事故、DV、ストーカー、児童・高齢者・障がい者虐待などの犯罪被害者等が受けた被害の回復又は軽減に資するために、電話・面接相談、専門家への橋渡し・裁判支援・生活支援・心の支援などの直接支援、自助グループの支援及び犯罪被害者等給付金支給の申請補助など、犯罪被害者支援のための活動を実施している。また、これらの活動と密接不可分である他機関等との連携、支援員の養成・研修及び広報・啓発活動を積極的に展開している。

さらに、近年、性被害の相談が非常に多いことから、日本財団預保納付金支援事業として28年度に「性犯罪被害者等支援センターおかやま」を立ち上げ、性犯罪被害に特化した専用電話を設置した。

しかしながら、国の性犯罪・性暴力被害者支援交付金制度の創設により、30年度から預保納付金支援事業の対象にならなくなったため、専用相談室の閉鎖並びに性被害等相談員を解雇し、一般の犯罪被害者相談室の中で対応しているのが現状で、他の都道府県の支援体制に比べると非常に見劣りする支援体制となっている。この状態を解消し、性犯罪・性暴力被害者の支援を積極的に展開するために、「性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター」を再度立ち上げることが急務となっている。

2 役員等

代表理事	平松敏男
業務執行理事	嶋村 稔、難波 光、
理事	若林久義、中島豊爾、真邊和美、今村恵美子、川野 豊 加藤裕司、松村正基
監事	森本治雄、澤畑優太
顧問	村田吉隆、岡崎 彬、皆木英也、松田 久
協力スタッフ	精神科医：堀井茂男、来住由樹 弁護士：14人
事務局長	藤原一徳
事務局員	片山 文、山崎悦子、保科節子
支援員	(令和2年3月1日現在)

犯罪被害相談員6名、犯罪被害者等給付金申請補助員4名、電話・面接相談員18名、犯罪被害者直接支援員13名、自助グループ支援員4名

3 主な事項

(1) 令和元年6月22日 2019年度定時社員総会

平成30年度事業を報告し、決算が承認された。理事1人(平松敏男)が選任された。総会後は、「犯罪被害者に必要な支援」と題して、大崎利章氏(殺人・放火事件被害者)の基調講演会を行った。

なお、理事会は月1回開催した。(4月25日、5月16日、6月13日・22日、7月11日、8月9日、9月19日、10月17日、11月14日、12月12日、1月14日、2月14日、3月23日)

6月22日の理事会において代表理事に平松敏男理事を選定した。

公益社団法人移行により、理事会の承認事項が増えたが、財政基盤づくり、広報啓発活動、性犯罪被害者のための支援活動等について、活発に議論し、議決している。

(2) 会員の推移

正会員	平成31年4月1日現在	個人112名、団体4団体
	令和2年3月31日現在	個人107名、団体3団体
賛助会員	平成31年4月1日現在	個人224名、団体54団体
	令和2年3月31日現在	個人194名、団体47団体

(3) 表彰状・感謝状の贈呈

日時 令和元年6月22日(2019年度定時社員総会)

表彰状受賞者 支援員(2名)

感謝状受賞者 正会員(個人1名) 正会員歴10年

賛助会員(個人3名) 賛助会員歴10年

賛助会員(団体1)

多額寄付者(個人1名)

多額寄付者(団体2)

事業推進協力者(1名)

4 主な事業及び活動内容

(1) 相談・直接支援事業、普及啓発等の事業について

平成31年4月1日、岡山県警察本部と平成31年度被害者相談・直接支援等業務委託契約を締結。岡山県から令和元年5月21日に犯罪被害者等支援のための普及啓発業務、11月5日に性犯罪被害・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター等啓発業務を受託した。

また、岡山市から8月21日にDV被害を防止するための啓発等の講座を行う業務を受託した。

実績は次のとおり

ア 相談事業

実績は、別紙「被害者支援活動の実施状況」のとおり

イ 直接支援事業

- (ア) 実績は、別紙「被害者支援活動の実施状況」のとおり。
- (イ) 直接支援事業の一環として「自助グループ」を8回開催した。
- (ウ) 犯罪被害者支援金として、VSCO規程により16件支給した。

ウ 広報啓発事業

(ア) 岡山県委託事業

- ・令和元年8月25日(土) ピュアリティまきび(岡山市) 参加85人

講演 「あすの会(全国犯罪被害者の会)と共に歩んだ18年」

～犯罪被害者の権利確立を目指して～

講師 林 良平氏(大阪市西成区看護師殺人未遂事件被害者の夫
元あすの会代表幹事)

報告 「被害者支援の現状について」

報告者 VSCO 支援員 家野昌子

「いのちと魂のメッセージ」のパネル展示

(イ) 岡山県警察委託事業

- ・令和元年11月24日(日) ピュアリティまきび(岡山市) 参加268人

講演 「少年犯罪で息子を奪われた母親の想い」

講師 武 るり子氏(少年犯罪被害者当事者の会代表)

パネルディスカッション(未来へ紡ぐあした彩)

ミニコンサート あした彩メンバーによる金管五重奏

「いのちと魂のメッセージ」のパネル展示

(ウ) 岡山市共催事業

- ・令和2年2月8日(土) 岡山市地域ケア総合推進センター 参加77人

講演 「性暴力という犯罪」 ～同意とは何か～

講師 後藤弘子氏(千葉大学教授)

報告 「被害者支援の現状について」

報告者 VSCO 支援員 家野昌子

ミニコンサート アンサンブルSOFIAによるクラリネット演奏

「いのちと魂のメッセージ」のパネル展示

(エ) 岡山市DV防止啓発等業務委託事業

- ・DV・デートDV防止のための出前講座

令和2年1月15日(水) 岡山市立岡山後楽館高校 参加117人

講師 片山 文(VSCO 支援員)

- ・第1回パープルリボンセミナー

令和2年1月30日(木) 岡山市立高島公民館 参加29人

講師 片山 文(VSCO 支援員)

- ・第2回パープルリボンセミナー

令和2年2月5日(水) 西大寺ふれあいセンター 参加36人

講師 片山 文 (VSCO 支援員)

(オ) その他の活動

- ・美作大学、岡輝・早島中学校、笠岡市役所でDV防止のための講演・講座を開催
- ・機関誌「いつでもそばに」第15号の発行(4,000部)
- ・ホームページで、「被害にあった方へ」「性犯罪にあった方へ」、「活動状況」、「今日のVSCOは?」、「自治体の被害者支援」、「会員・組織、機関誌」、「VSCOの講師派遣制度」、「VSCOの支援を受けて」、「VSCOを支援する会」、「VSCOのテーマソングー窓の外にはー」、「入会のお願い」、「寄附のお願い」、等々を掲載
- ・啓発チラシ配布等で、県民や被害者に向けて、講演会・フォーラムの開催や電話相談等を紹介
- ・関係団体や関係機関との連携として、県産婦人科医会及び加盟医療機関との連絡会、おかやま被害者支援ネットワーク会議等へ参加
- ・関係団体(者)への広報啓発として、ライオンズクラブ、ロータリークラブ、町内会等への講話。養護教諭研修会場、大学・専門学校、市町村役場等へ機関誌を持参しVSCOの活動を紹介

(2) 支援員等養成研修事業

ア 支援員養成基礎講座・中級講座(岡山県共同募金会、日本財団の助成を受けて実施)

開催回数:基礎講座6回、中級講座6回

受講者数:基礎講座31名(大学生21名・一般10名)、中級講座6名

修了者数:基礎講座10名(大学生2名・一般8名)、中級講座5名

新規支援員登録者数:2名

若者が被害者支援の大切さを理解し、ボランティア活動を推進するシステムづくりのため、県内の大学生に受講を呼び掛けたところ、山陽学園大学、美作大学、環太平洋大学、ノートルダム清心女子大学、岡山理科大学の学生が基礎講座を受講し、内2人に修了書を交付した。

【基礎講座】

開催月日	内 容	参加人数
5月18日(土)	開講式(代表理事挨拶・自己紹介) 犯罪被害者支援の歴史 講師:平松敏男(弁護士) 「被害者サポートセンターおかやま」の活動内容 講師:VSCO犯罪被害相談員	一般9人 学生2人
5月28日(火)	刑事裁判の傍聴と解説(一般) 講師:平松敏男(弁護士)	一般8人 学生5人

6月1日(土)	性犯罪被害者のサポート 講師：Cさん、Cさんの夫 女性の被害(DV等)の対応 講師：岡山女性相談所	一般8人 学生15人
6月8日(土)	模擬裁判(岡山商科大学)(大学生) 講師：平松敏男(弁護士)	一般3人 学生7人
6月15日(土)	児童虐待と児童相談所の働き 講師：岡山市こども総合相談所 消費者被害と消費生活センターの働き 講師：岡山県消費生活センター	一般9人 学生2人
6月29日(土)	経済的被害の回復 講師：岡山弁護士会 犯罪被害者支援委員会副委員長 ストーカー被害者のサポート 講師：県警本部生活安全部子ども女性安全対策課	一般8人 学生4人
7月13日(土)	最愛の家族の命を奪われた遺族の立場から 講師：被害者遺族(加藤裕司) 閉講式(代表理事挨拶・学生への修了書交付)	学生5人 一般9人

【中級講座】

開催月日	内 容	参加人数
7月27日(土)	開講式(代表理事挨拶・受講者の一言コメント) 特別講演「支援者のストレスとサポート」 講師：上地 玲子(山陽学園大学准教授)	一般6人
8月31日(土)	VSCOについて・被害者支援とは(DVD視聴) 電話相談の基礎 自分自身を知りましょう(心理テスト) 講師：VSCO研修委員	一般4人
9月14日(土)	電話相談の実際 ～ロールプレイを通じて～ 講師：VSCO研修委員 被害者支援を考える～精神科医の立場から～ 講師：来住由樹 (岡山県精神科医療センター院長)	一般4人
9月21日(土)	直接支援の実際(1)～ロールプレイを通じて～ 講師：VSCO研修委員	一般6人
10月3日(木)	検察庁見学・裁判傍聴	一般4人

10月5日(土)	直接支援の実際(2)(3) 講師：VSCO研修委員 閉講式(代表理事挨拶・修了書交付)	一般5人
11月16日(土)	面接 講師：堀井茂男 (公益財団法人慈圭会 慈圭病院理事長)	

成果と課題

受講者総数31人中、県内5大学より21人の大学生が初級(基礎講座)を受講し2人に修了証を交付した。若者が被害者支援の大切さを理解しボランティア活動を推進するシステムづくりのきっかけとなった。

一般受講者は10人であったが、5人が初級(基礎講座)と中級講座の全過程を修了した。その内2人を支援員補助として採用する予定である。

人材育成には数年を要するため、支援員の育成が重要課題である。支援員の採用人数は少数ではあるが、支援員候補者発掘のためには、毎年養成講座を行っていく必要があり受講者の募集を広く呼びかける必要がある。

受講した学生の感想

- ・養成講座で学んだことを今後の被害者支援ボランティアで活かしていこうと思う。また、家族や周りの人に伝えてみようと思う。
- ・初めて被害者遺族の話聞いた。社会福祉士、教員を目指す者として相手の話を受け止めることの大切さ、教育の大切さを改めて感じる事ができた。今後、大学の自主ゼミとして活動していく中で、講座で学んだことを活かしていきたい。
- ・被害者の心の傷は一生消えることはないが、社会には、その傷をケアすべき職があるんだということを知ることができた。
- ・裁判には多くの役割があることが分かり驚いた。また、実際にどのように行われているのか、皆さんの演技力もすごく忠実に再現してあったので、裁判がどのようなものかを生で感じ取ることができた。

一般受講者の感想

- ・裁判の傍聴、模擬裁判など今まで経験したことがないことを知ることができた。被害者の方の生の声も聞くことができた。被害者の気持ちを知ってはじめて支援ができるということを忘れずにいたい。被害者の方が置かれている現状を多くの人を知ること、経済的な支援が早急に進むことが必要だと思う。
- ・県内で実際に被害者支援に関わっている各機関の話聞くことができ、どのような事例であれば連携できるかなど、イメージを持つことができた。今後も、この講座で学んだことを実務に生かしていきたいと思う。
- ・被害者に寄り添えるよう、その方の心の内のお話をしていただけるように、冷静さを保ちながら、共に怒り悲しみ(自分の心の中で)たい。
- ・被害者支援の現状を身近な人に伝えて、被害者への行政支援が少しでも改善さ

れるべく共感者を増やしたいと思う。

・被害者支援員とは、被害者を受容し、傾聴能力が必要なカウンセラーであることが大前提であり、各種行政機関等への手続きの知識と柔軟な調整能力が必要であることが分かった。

イ 支援員継続研修（日本財団の助成を受けて実施）

実施日：毎月第2土曜日 16：15～18：30

研修内容、参加人数は次表のとおり 回数：12回

活動中の支援員を対象に外部講師等に依頼し専門的な指導を受けることができた。

【支援員継続研修】

開催月日	基礎知識	事例検討・講義等	参加
4月13日	事例検討 ①被害者参加制度と損害賠償命令 ②被害者加入のための国選弁護制度		19人
5月11日	①証人への遮蔽・付添・ビデオリンク方式 ②意見陳述	事例検討 ・住居侵入、強盗、強制わいせつ ・強盗、強制性交等罪	19人
6月8日	①少年事件の流れ ②守秘義務の徹底 ③諸制度	事例検討 ・殺人、強制わいせつ等	12人
7月20日	①受刑中の処遇状況や出所情報等の通知 ②再被害防止	デートDVについて ～お互いを大切にする関係とは～ (講師：片山文)	13人
8月10日	①全国ネット支援金、まごころ奨学金 ②犯罪被害給付制度	ロールプレイ ・性被害電話、面接場面	10人
9月14日	事例検討 性犯罪被害電話相談 講義：関係機関との連携 講師：高橋久代 NNVS認定コーディネーター（くまもと）		12人
10月12日	①被害届・告訴・告発 ②被害者連絡制度 ③被害者等通知制度	復命研修講義 ・質の向上研修上半期研修会報告	9人
11月9日	①支援の流れ ②支援取組の基本 ③支援の基本的な心構え	復命研修講義 ・質の向上研修上半期研修会報告・分科会報告	13人

12月14日	①警察提供情報とは ②犯罪被害者等早期援助団体の制度等 ③情報管理規程 ④警察提供情報の対象犯罪行為	事例検討 ・殺人の模擬事例 復命研修講義 ・全国研修会・秋期研修会報告	11人
1月11日	①支援の始まり 電話相談からの支援 ②支援の見極め等	復命研修講義 ・精神疾患等についての基礎知識	14人
2月15日	①リスニング技術 ②ロールプレイ、実施後の感想・ポイント	復命研修講義 ・質の向上研修下半期研修会報告	16人
3月21日	①心理教育	復命研修講義 ・質の向上研修下半期研修会報告	15人

ウ 全国ネットワーク等主催の研修（日本財団の助成を受けて実施）

- 6月15・16日：第6回性暴力救援センター全国研修会（大阪）2人参加
- 8月2・3日：令和元年度支援活動責任者研修（東京）1人参加
- 9月7・8日：中国・四国ブロック質の向上研修上半期研修会（広島）3人参加
- 10月13日：第21回『WiLL』（大阪）1人参加
- 10月18～20日：令和元年度秋期全国研修会等（東京）3人参加
- 11月17日：シンポジウム「虐待された子どもたちへの支援」（兵庫）2人参加
- 11月21・28日, 12月5・12日：フェミニストカウンセリング専門講座（大阪）1人参加
- 11月16・17日：子どもの虐待防止推進全国フォーラム in とっとり（鳥取）1人参加
- 11月30日：犯罪被害者週間全国大会2019（東京）1人参加
- 12月14日：シンポジウム「被害者の声を聞く」（東京）1人参加
- 12月20～22日：日本子ども虐待防止学会 第25回学術集会ひょうご大会・国際シンポジウム（兵庫）1人参加
- 1月8・9日：内閣府「性犯罪被害者等支援体制整備促進事業」医療関係者等研修（東京）1人参加
- 1月11・12日, 2月1・2日, 3月7・8日：ファシリテーター養成研修（兵庫）1人参加
- 1月27・28日：春期全国研修会（コーディネーター前期研修）（東京）1人参加

(3) 財政基盤の確立と事務局体制の強化

日本財団の助成を受け、先駆的なファンドレイジング活動としてコンサルタントの指導を受けた経験を生かし、賛助会員、支援自販機の設置、募金箱の設置拡大及びホンデリング、赤い羽根共同募金の推進に努めた。しかしながら、地方経済の長引く景気低迷もあ

り、会員数はほぼ横ばいとなっている。

寄付型自動販売機については、企業等に設置依頼を積極的に行ってきた。平成25年度3台(48,663円)であったが、県警察や会員・建設会社・自販機メーカーの協力等もあり平成30年度には96台まで増設することができた。ただし、本年度においては建設現場等に設置していた自販機が撤去になるケースが相次ぐなど、寄付金額総額は1,960,186円(昨年度比445,500円減)と大幅に減額となった。

ホンデリングについては、気軽に協力してもらえる寄付行為と位置づけ、フォーラム会場での配布資料に折り込む等工夫して協力を依頼した。本年度は18件34,594円(昨年度より36,074円減)の寄付があった。

募金箱については、4年前に88台作製して、現在までに59台設置している。2月中に募金箱(32か所)を回収し、233,974円(昨年度比97,562円増)の募金を獲得した。

県共同募金会のテーマ募金は、100万円を目標として募金活動を行ったが、目標額を上回る募金を集め136万円の助成金をいただくことができた。この助成金は、支援員養成講座と性犯罪被害者等支援センターおかやまの運営費に充当した。

補助金・助成金については、本年度も要望活動を行ったが、新規の獲得には至らなかった。人口減少がある中、9市10町2村から総額1,669,799円(昨年度比7,429円減)の補助金を受け、相談事業、養成研修事業、広報啓発事業に充当した。

5 今後の課題

公益社団法人として8年目を迎えるが、今後も引き続き財政基盤の確立及び事務局を含めた支援体制の充実強化に向けて人材の確保を図る必要がある。

また、県民にVSCOの存在と活動内容を周知し、1人でも多くの被害者等に認知してもらえよう広報啓発の強化を図る必要がある。

更に、岡山県、警察本部及び関係機関等との連携の強化を図るとともに、「性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター」の再度の立ち上げを図ることが急務となっている。

被害者支援活動の実施状況

〈 2019年4月 ~ 2020年3月分 〉

I 電話相談・面接相談

■ 月別相談件数

年 月	電話相談			面接相談		
	新規	継続	計	新規	継続	計
2019. 4	10	19	29	1	0	1
2019. 5	15	11	26	1	1	2
2019. 6	18	19	37	2	0	2
2019. 7	20	25	45	4	0	4
2019. 8	15	21	36	1	0	1
2019. 9	11	17	28	1	0	1
2019.10	25	19	44	3	1	4
2019.11	13	16	29	0	0	0
2019.12	22	25	47	1	0	1
2020. 1	9	18	27	1	0	1
2020. 2	18	7	25	2	0	2
2020. 3	9	14	23	2	1	3
計	185	211	396	19	3	22

■ 男女別相談件数（継続相談を含む）

男	108	女	309	不明	1	計	418
---	-----	---	-----	----	---	---	-----

■ 相談（被害）内容（継続相談を含む）

被害内容	件数	被害内容	件数
殺人・傷害致死	5	交通事故	8
強盗（致死傷）	0	財産的被害	12
強制性交等	97	DV	9
強制わいせつ	53	ストーカー	20
その他の性犯罪	39	虐待（いじめ）	7
暴行・傷害	23	死別・自殺	
その他の身体犯	1	災害被害	
危険運転致死傷	0	その他	110
交通死亡事故	34	計	418

■ 面接相談の端緒

電話相談後	22	他機関等の要請	0	その他	0	計	22
-------	----	---------	---	-----	---	---	----

Ⅱ 紹介

岡山弁護士会	1	県消費生活センター	3
LA岡山	0	交通事故相談所	0
法テラス岡山地方事務所	1	その他の「おかやま被害者支援 相談ネットワーク」加盟機関	0
精神科医	0	警察	2
臨床心理士会	0	上記以外の機関	16
県女性相談所	0	計	23
県・市児童相談所	0		

Ⅲ 直接支援支援内容

(単位：件)

年月	警察関連支援	裁判関連支援	検察庁関連支援	弁護士法律相談付添	行政窓口等付添	病院付添	カウンセリング付添	自宅訪問	物品の供与・貸与	生活支援	宿泊施設提供	支援金等の支給	自助グループ開催	犯給申請補助業務	その他	総数
2019.4	0 (0)	7 (6)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	16 (15)
2019.5	0 (0)	9 (9)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	21 (20)
2019.6	1 (0)	3 (2)	2 (2)	1 (0)	0 (0)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	16 (13)
2019.7	0 (0)	3 (3)	0 (0)	3 (0)	0 (0)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	13 (9)
2019.8	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	1 (1)	2 (0)	0 (0)	10 (8)
2019.9	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	9 (9)
2019.10	1 (0)	3 (3)	0 (0)	2 (0)	1 (0)	3 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	12 (7)
2019.11	2 (2)	5 (4)	1 (1)	3 (2)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	14 (12)
2019.12	0 (0)	2 (2)	1 (0)	0 (0)	1 (1)	4 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10 (5)
2020.1	2 (1)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	8 (7)
2019.2	2 (2)	4 (1)	3 (2)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	12 (8)
2020.3	2 (1)	10 (9)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	15 (13)
合計	10 (6)	52 (45)	17 (15)	9 (2)	5 (4)	30 (27)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	16 (13)	8 (8)	2 (0)	6 (5)	156 (126)

※()内は、継続直接支援件数

<直接的支援関係>

		支 警 関 連	裁 判 関 連 支 援	検 察 庁 関 連 支 援	弁 護 士 法 律 相 談	添 行 政 窓 口 等 へ の 付 い	病 院 付 添 い	付 カ ウ ン セ リ ン グ	自 宅 等 訪 問	物 品 の 供 与 ・ 貸 与	生 活 支 援	宿 泊 施 設 提 供	支 援 金 等 の 支 給	そ の 他	計	自 助 グ ル ー プ 開 催
身 体 犯	殺人(傷害致死)	4	1	1										1	7	0
	強盗(致死傷)														0	0
	強姦性交等	3	33	12	4	5	6						5	2	70	8
	監護者性交等						3						4		7	0
	強制わいせつ	1	2		3		4						1	1	12	0
	監護者わいせつ														0	0
	その他の性的被害	1	2		2		17		1				6	1	30	0
	暴行・傷害		5												5	0
	その他の身体犯														0	0
交 通	危険運転致死傷														0	0
	交通死亡事故	1	9	4											14	0
	交通事故														0	0
財産的被害															0	0
DV															0	0
ストーカー															0	0
虐待															0	0
そ の 他	死別・自殺														0	0
	災害被害														0	0
	その他													1	1	0
計		10	52	17	9	5	30	0	1	0	0	0	16	6	146	8

<その他の活動関係>

活 広 報 啓 助 発	申 犯 罪 補 助 害 給 務 付	計
375	2	377件